○公開口頭審理傍聴規則

制定 平成22年11月24日公平委規則第2号

(趣旨)

第1条 この規則は、地方公務員法（昭和25年法律第261号）第8条第5項の規定に基づき、松山広域福祉施設事務組合公平委員会（以下「委員会」という。）が行う公開口頭審理（以下「審理」という。）の傍聴に関し必要な事項を定めるものとする。

(傍聴手続)

第2条 審理を傍聴しようとする者は、委員会が傍聴席の数に応じて発行する別記様式の傍聴券の交付を受けなければならない。

- 2 傍聴券は、審理開始前に審理場入口において交付することを例とする。
- 3 傍聴者が入場しようとするときは、傍聴券を職員に示し、その指示に従わなければならない。
- 4 傍聴者が退場する場合は、傍聴券を職員に返さなければならない。

(傍聴制限)

第3条 次の各号のいずれかに掲げる者は、傍聴を許さない。

- (1) 兇器その他危険のおそれのある物を携帯する者
- (2) 旗、プラカード等を携帯する者
- (3) 異様な服装をした者又は酒気を帯びた者
- (4) 前各号に掲げるもののほか、委員会において入場を不相当と認める者

(傍聴人の守るべき事項)

第4条 傍聴者は、審理場内において次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 傍聴席以外において、傍聴しないこと。
- (2) みだりに自席を離れないこと。
- (3) 異様な服装をしないこと。
- (4) 喫煙しないこと。
- (5) 飲食その他不体裁な行為をしないこと。
- (6) 審理中に発言し、又は拍手をしないこと。
- (7) 私語、かん声、放歌その他審理の妨害になるような行為をしないこと。
- (8) 委員会委員長の命令及び職員の指示に従うこと。
- (9) 前各号に掲げるもののほか、審理の進行を妨げ、場内の秩序を乱すおそれ

のある行為をしないこと。

(退場命令)

第5条 委員会委員長は、この規則に違反したと認める者に対しては注意を促し、
なお、あらためないときは、退場を命じることができる。

2 前項の規定により退場を命じられた者は、当日再び傍聴することを許さない。

付 則 (平成22年11月24日公平委規則第2号)

この規則は、公布の日から施行する。

別記様式（第2条関係）

				No.
口 頭 審 理				
<table border="1"><tr><td style="text-align: center;">傍 聴 券</td></tr></table>				傍 聴 券
傍 聴 券				
日 時	年 月 日	午前	時	
		午後		
場 所				
松山広域福祉施設事務組合公平委員会 <table border="1"><tr><td>印</td></tr></table>				印
印				

(裏)

傍 聴 者 心 得
傍聴者は、次に掲げる事項を守らなければならない。
1 傍聴席以外において、傍聴をしないこと。
2 みだりに自席を離れないこと。
3 異様な服装をしないこと。
4 喫煙をしないこと。
5 飲食その他不体裁な行為をしないこと。
6 審理中に発言し、又は拍手をしないこと。
7 私語、かん声、放歌その他審理の妨害になるような行為をしないこと。
8 委員会委員長の命令及び職員の指示に従うこと。
9 上記事項のほか、審理の進行を妨げ、場内の秩序を乱すおそれのある行為をしないこと。